

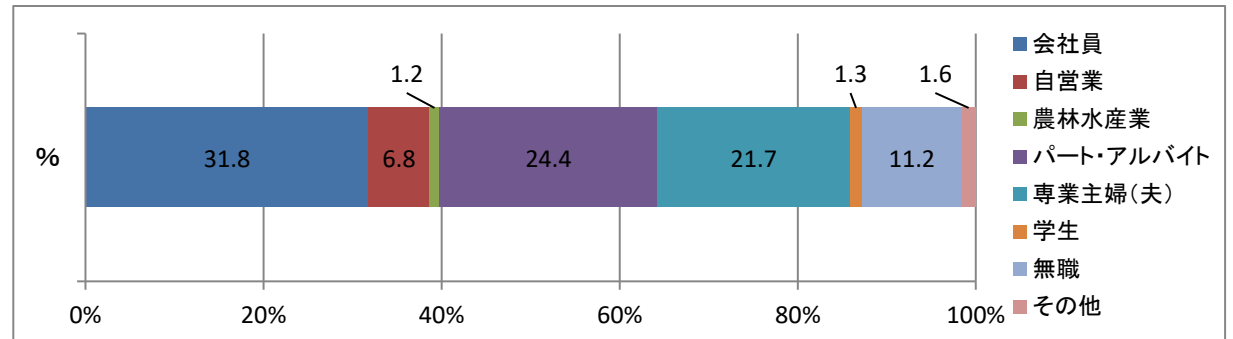
## 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等について

- 調査期間 令和3年9月21日～10月1日
- 調査の趣旨 日常の買い物でどのくらい地元消費されているのかを調査します。  
Buy Local(バイ ローカル)とは地元の店舗で買い物しようというキャッチフレーズであり、欧米をはじめ世界の様々な自治体や地域で取り組まれている経済活性化の運動のことをいいます。
- 対象者数 1051 人(令和3年9月21日現在)
- 回答者数 824 人
- 回答率 78.4 %

(図および表中の比率は、少数点第2位を四捨五入して表示しています。したがって、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。)

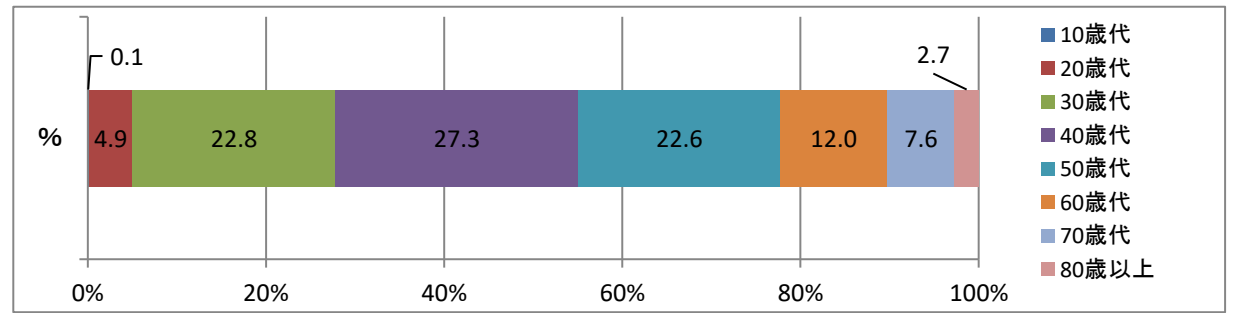
### 【職業】

内訳	人数	%
会社員	262	31.8
自営業	56	6.8
農林水産業	10	1.2
パート・アルバイト	201	24.4
専業主婦(夫)	179	21.7
学生	11	1.3
無職	92	11.2
その他	13	1.6
合計	824	100.0



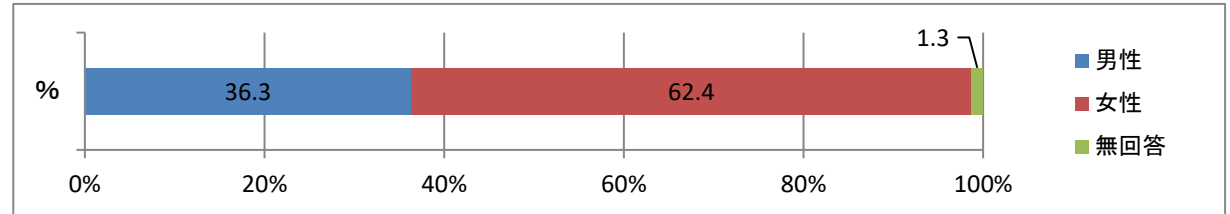
### 【年齢】

内訳	人数	%
10歳代	1	0.1
20歳代	40	4.9
30歳代	188	22.8
40歳代	225	27.3
50歳代	186	22.6
60歳代	99	12.0
70歳代	63	7.6
80歳以上	22	2.7
合計	824	100.0



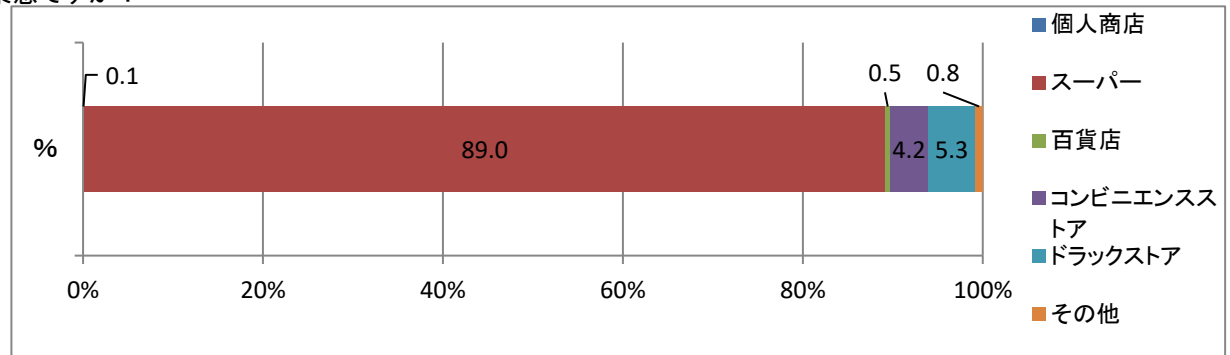
【性別】

内訳	人数	%
男性	299	36.3
女性	514	62.4
無回答	11	1.3
合計	824	100.0



【問1】 食料、日用品など日常の買い物で最もよく利用するお店はどのような業態ですか？

内訳	人数	%
個人商店	1	0.1
スーパー	733	89.0
百貨店	4	0.5
コンビニエンスストア	35	4.2
ドラッグストア	44	5.3
その他	7	0.8
合計	824	99.9

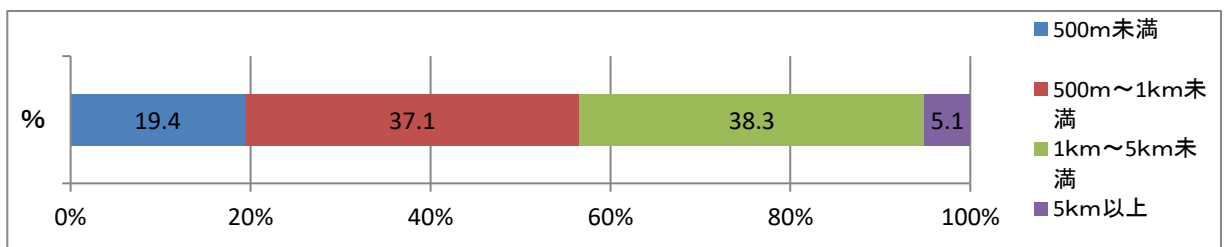


【問1-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者7人)

- ネット
- 生協
- ディスカウントストア
- 市民生協
- 生協の個人宅配
- 弁当屋
- 生協で殆ど賄っています。近所の市場はシャッター通りになり何とか歩いていたスーパーは閉めてしまいました。40年前から入っていた生協に助けられています。

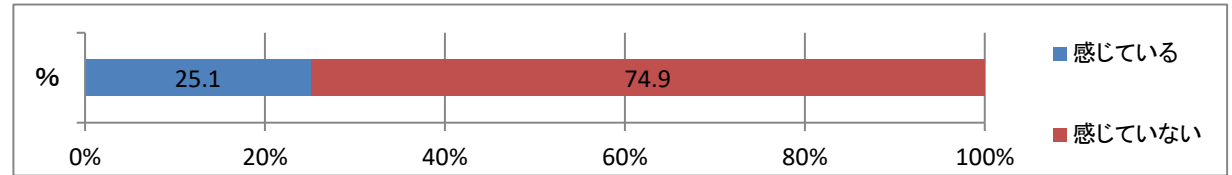
【問2】 最もよく利用するお店は、お住まいからどのくらい離れていますか？

内訳	人数	%
500m未満	160	19.4
500m～1km未満	306	37.1
1km～5km未満	316	38.3
5km以上	42	5.1
合計	824	99.9



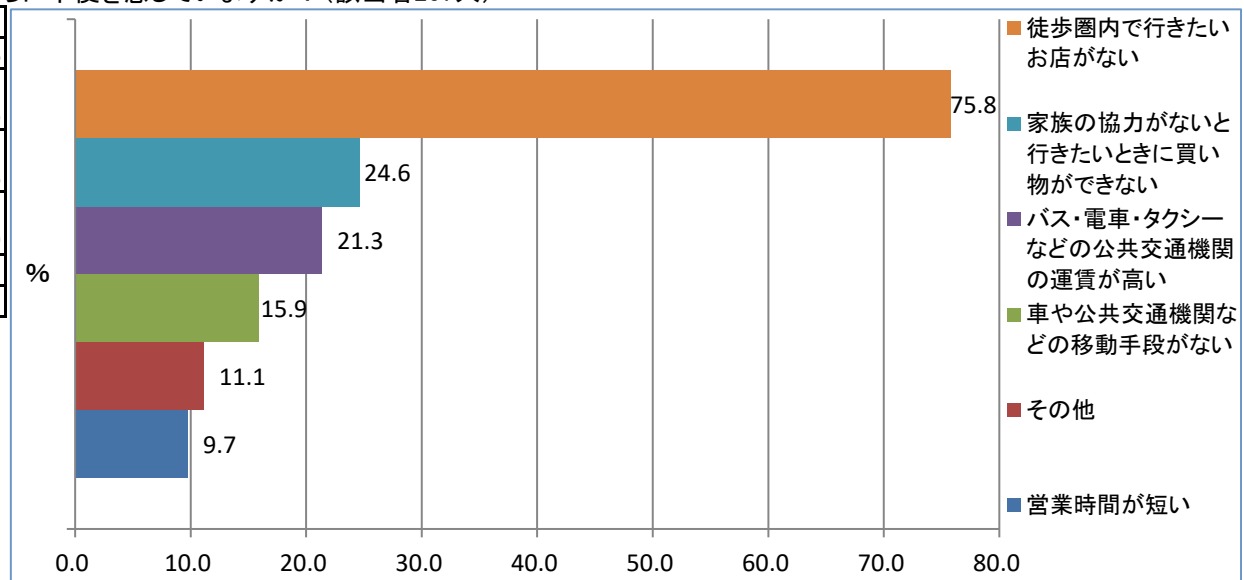
【問3】 日常の買い物に不便を感じていますか？

内訳	人数	%
感じている	207	25.1
感じていない	617	74.9
合計	824	100.0



【問3-1】 問3で「感じている」と回答された方にお聞きます。どのようなところに不便を感じていますか？（該当者207人）

内訳	回答数	%
徒歩圏内で行きたいお店がない	157	75.8
家族の協力がないと行きたいときに買い物ができない	51	24.6
バス・電車・タクシーなどの公共交通機関の運賃が高い	44	21.3
車や公共交通機関などの移動手段がない	33	15.9
その他	23	11.1
営業時間が短い	20	9.7



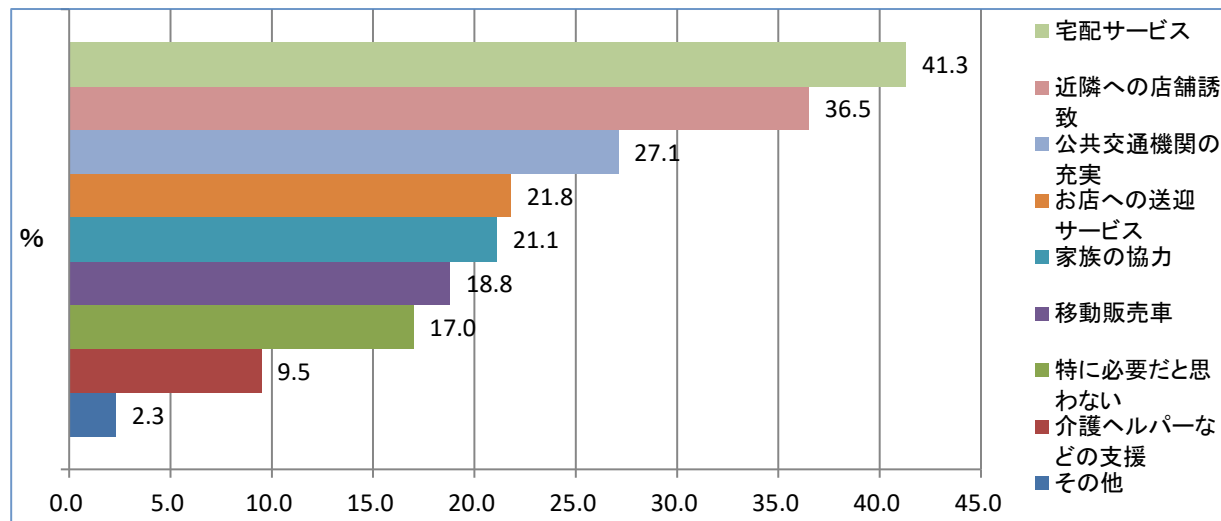
【問3-1-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。（該当者23人）

- 欲しいものがない、お惣菜のクオリティが低い。
- 自宅と勤務先の間がないから、遠回りになる。
- 近くのスーパーが何店舗か閉店していつてる。
- 電子決済が使えない店がある。荷物をまとめて持ち帰れないため何往復もすることがあり、出来たら配達があれば助かります。また、欲しい品が1店舗で揃わずあちこち回らなければ安く買えない。
- 徒歩圏内にお店がない。
- 道が危険。
- 100均が近くにない。
- 店舗数の問題、行く店が、限られてくる。
- 近くのスーパーは主に食料品のみで、衣料の品物がない。電気商品もない。自動車で行かないと買えない。
- お店の種類が少ない。
- 道が混む、駐車場が少ない。

- 1箇所ですべての買い物が出来ない(品物の種類が少ない)。
- 仕事帰りの道すがらにお店がない。また、電子マネーが使えるところがまだまだ少ない、以前よりは増えたけど。
- 子供がいるので少しの買い物でも大変。
- オーガニックや無添加の商品があまりない。
- 買いたいものが売っていない。
- 職場から家までの帰り道のスーパーが、2件とも潰れてしまって不便。家の近くのスーパーは、職場から家を通り過ぎて行く形になるので遠回りになるのと、調味料など凝ってて割高だったりするので、普段使いにはちょっと不便を感じる。
- 普段の食品等は車で行けば問題ないです。一方で衣料品はほしいブランド等大阪迄行かないと手に入らない為。
- コロナ禍でマスクも出来ない未就園児を連れての買い物が大変。
- 近隣のスーパーが9月末で閉店になり、買い物がしにくくなった。自転車で行ける距離にはスーパーがあるが、品揃えがイマイチで乗り気がしない。
- 子供を連れて行きにくい。
- 無農薬や有機のものの取り扱いが少ない、または全くない。
- ほしいものが見つからない。都会かネットで買うことになる。

【問4】 買い物環境を良くするにはどのようなことが必要だと思いますか？

内訳	回答数	%
宅配サービス	340	41.3
近隣への店舗誘致	301	36.5
公共交通機関の充実	223	27.1
お店への送迎サービス	180	21.8
家族の協力	174	21.1
移動販売車	155	18.8
特に必要だと思わない	140	17.0
介護ヘルパーなどの支援	78	9.5
その他	19	2.3



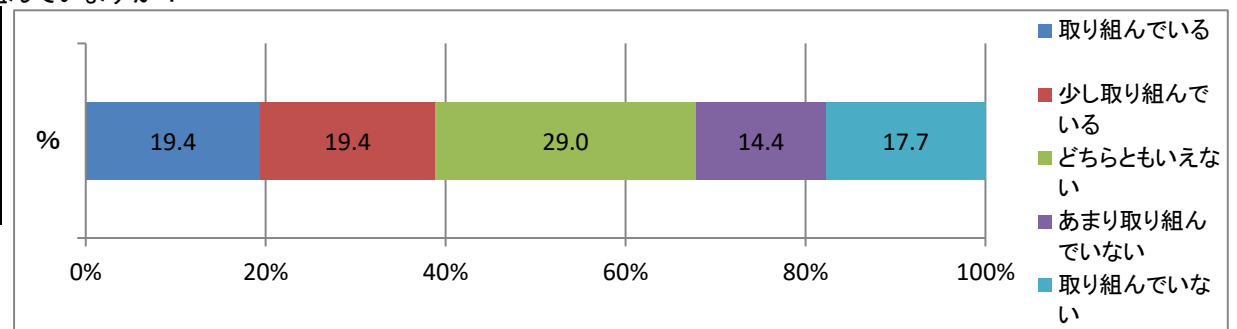
【問4-1】 「その他」と回答された方は、詳しくご記入ください。(該当者19人)

- 毎日でも食卓に並べられる美味しいもの
- 買い物専用のバスの導入
- 坂道が多く、車道も狭いので自転車で通るのが怖い。
- 川辺橋と岩出橋の間に橋が欲しい。
- そもそもマイカーを優遇し、街を広げる政策をとっているのだから、免許返納した後、足腰の弱い高齢者を量産する街になっている。買い物環境だけの問題ではない。そもそもマイカーを持つことを推奨し、郊外に戸建てを購入することに問題はないのか。マイカーで移動してきた市民に「高齢になったから公共交通機関を使いましょう」は現実味があるとは思えない。和歌山市は歩行者にやさしい街だとは思えない。

- 無料駐車場がある事 いくら以上で〇〇分無料は立地がよくても行きません。
- 自動運転
- 空き地(空き家)や公園、公民館などの施設を利用した定期的なマルシェを開く。
- レジ袋を完全無料にして欲しい。
- 自転車や車椅子、子供が乗る自転車と連れ立って、せめて歩いて、気軽に買い物に行きたい。どこを通っても車ばかり。交通弱者の立場に立ってほしい。
- 駐車場が広い。
- お買い物バス。各スーパーやチェーンストア付近に停留所を設けて循環お買い物バス網を張り巡らせる。
- 和歌山駅にスーパーの機能がほしい。
- 子連れ買い物に対する地域住民の理解
- お店側の努力(値段・品揃え・店員の教育・商品の配置・駐車場の利用しやすさ、等々)
- 欲しい商品を置いてほしい。
- 生活のサイクルと地域に合わせた、バス等のルート・時間
- 自転車で行くのが便利になる交通環境整備

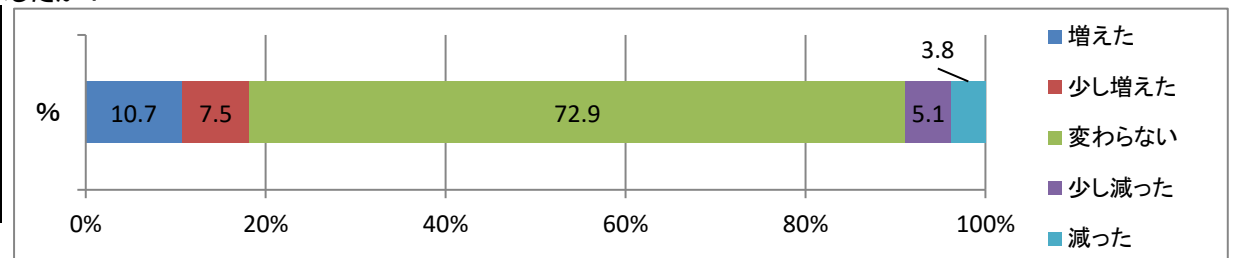
【問5】 日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店で購入するように取り組んでいますか？

内訳	人数	%
取り組んでいる	160	19.4
少し取り組んでいる	160	19.4
どちらともいえない	239	29.0
あまり取り組んでいない	119	14.4
取り組んでいない	146	17.7
合計	824	99.9



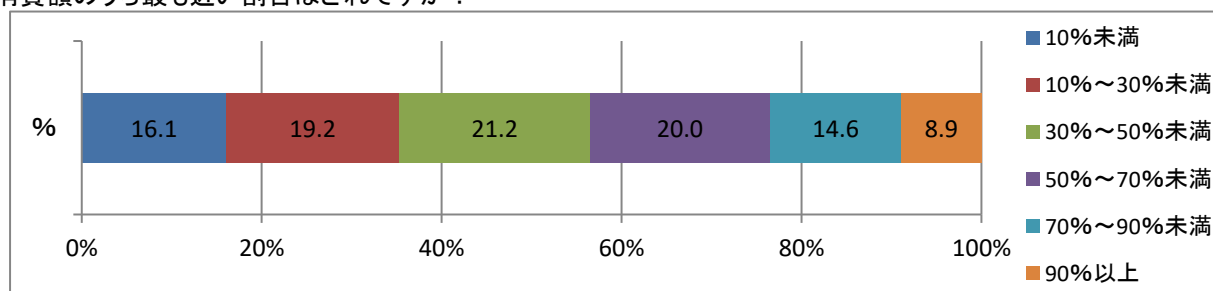
【問6】 1年前と比べて、和歌山市に本社のあるお店で購入する機会が増えましたか？

内訳	人数	%
増えた	88	10.7
少し増えた	62	7.5
変わらない	601	72.9
少し減った	42	5.1
減った	31	3.8
合計	824	100.0



【問7】 日常の買い物で、和歌山市に本社のあるお店での消費額は、全体の消費額のうち最も近い割合はどれですか？

内訳	人数	%
10%未満	133	16.1
10%～30%未満	158	19.2
30%～50%未満	175	21.2
50%～70%未満	165	20.0
70%～90%未満	120	14.6
90%以上	73	8.9
合計	824	100.0



【問8】 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))等に関するご意見などありましたら、ご記入ください。(任意)

- 歩行が困難になりつつある高齢者が、重量のある地元のお米や水等、楽に購入出来る事。お金を持っていても、外出できなければ消費されない。若い人達は、地元には目もくれずネットで購入してしまう。地元を活性化するには、若い人達より高齢者に目を向けるべき。高齢者に対し気遣いや優しさを考慮した仕組みは、多額の消費を見込めると思います。
- 和歌山市所在かどうかは関係なく、和歌山県内に本社のあるスーパーかどうかは意識している。また、特定のものに関しては(刺身など)信頼できる個人商店を利用している。
- 時間がないから近くのお店で買い物をしてしまう。でも「和歌山産」の表示があれば進んで購入していたが、バイローカルのことを深く考えていなかった。和歌山市、和歌山県、どちらも私にとっては「和歌山」なので。
- 地元の店舗だからだけではなかなか選ばない。買いたくなるような工夫や利用者にとって特典などあればもっと意識は強くなると思う。
- 価格的に少し高い。
- 和歌山市に本社のある会社とはどこか分からない。
- 近い将来、高齢になり車を運転できなくなると歩いていける店がない。近くに頼れる人もないので都市部に引っ越しした方がいいのかと悩む。
- 利便性等の面が同じなら和歌山市のものを買うが、そうでなければ利便性を優先する。
- 地元消費は地元の活性化に大切だと思いますが、価格や利便性が優れていないと、実際に買いに行く事は少なくなります。他社に負けられないようなサービスを取り入れる事が必要だと思います。ネットを使えない高齢者への対面注文の受け付けや、宅配などがあると思います。
- 自身高齢者でもあり、今はマイカーによるスーパーへの買い物など不便は感じていないが、車を離れた時を考慮すると公共交通機関の充実等をお願いしたい。市に本社有無の質問あるが、年金暮らしの身の上ではぎりぎりの生活を強いられ、地産地消とは思いますが、値段の安い店に行く傾向にある。
- 価格や品揃え、品質の良さ等を考慮し日用品は地元で購入しています。しかし家具や革小物、ダンスシューズ等は残念ながら地元で店舗が無いので大阪迄購入しに出掛けます。全て地元で購入出来たら有難いと感じます。
- 良いことだとは思いますが、和歌山市民が全員和歌山に本社があるところで仕事してるわけではないので、地元消費を助かる気持ちも必要ですが、それに重きを置くのもどうかとも思います。
- 近くで買い物するところが少ない。お城近辺、和歌山市駅近辺にスーパー誘致お願いいたします。
- 安くて良いものは、産地や会社によらず購入すると思う。
- 当然、財布に優しい店舗を利用する。
- 本当に進めていくのなら地元消費の見える化が必要。どの店が地元の商品を取り扱う店なのか分かるように。
- 和歌山市に本社がある店、と言ってもどこでどう調べるのか？新聞チラシで多分県内市内のスーパーだと思っているが、事実は分からない。地元消費の趣旨は分かるが、この質問の前提がイマイチです。
- 和歌山には新鮮で美味しい野菜、果物、魚があるので、地元で採れたものを安くて新鮮なまま和歌山県民が購入出来るようになれば良いと感じます。

- 和歌山市にこだわらず和歌山県内が本拠地ならば良いのでは。消費者はそんなことにはこだわらず、近場で安く買いやすいお店をチョイスするだけなんで、市だけにこだわらず、出来れば街中にもっとスーパーを誘致して買い物しやすい環境を作って欲しい。最近では統合したりしてスーパーも閉店するところが増えてきているので、空き家、空きビル対策で街中にもっとスーパーを増やして貰いたいです。
- 和歌山市在住ですが、和歌山市の端になるので、主に利用するスーパーは岩出市、紀の川市になります。徒歩圏のスーパーも活用しています。
- BuyLocalがこのようにアンケートにも記載されるようになったことを嬉しく思います。BuyLocalはとても良いと思いますので、和歌山市民の方々にもどんどん浸透して行って欲しいです。
- 基本買い物は大型ショッピングモールで済ませることが多い。ふじと台の中に地元資本のスーパーが出来たら、利用する。
- そもそも和歌山本社のお店がどこなのか知らない。知るように店先に地元消費の何か書くなどしてもいいのでは？
- 買い物だけでなく、サービス業も含め、和歌山市に本社や個人店舗(代表者が和歌山市に住民票)がある地元リストを作成し広報。また、公務員、議員、首長が率先し地元の店舗、サービスを利用促進するよう指導していただきたい。
- 和歌山ローカル企業を和歌山市民が護っていかなければ和歌山市が衰退してしまいます。
- 地域住民の増加。本町地区ですが空洞化しており店舗出店は厳しいと思います。まずは住民増加⇒店舗でしょう。
- 同じ商品で他府県、海外の方が安いことが多いので、あまり地産地消に積極的にはなれていない。
- 地産地消という内容は十分理解していますが、今の農業は地消には程遠い高価な商品となり無理。後継者がいないのも解るが、昔から和歌山のブランドが弱い。山国の和歌山では、無理も解るが残念。
- 地元消費の意味合いがよく解りません。雇用を守るために企業誘致をしたりしていますが矛盾しています。また、地元優先の考えは自由経済とも矛盾しています。安く良い商品をお店を選択するのは至極当たり前のことです。地方交付税無しでは成り立たない自治体が地元消費を唱えることはやはり矛盾していると感じます。企業が成長しやすい環境づくりにひたすらに邁進すべきです。
- バイローカルが市民に浸透しているのか疑問がある。まずは市役所1階の全国チェーン店を撤去してほしい。市職員の昼食の外出率はどのくらいで、それを向上させる取り組みなどやってみてはどうか。
- あえて地元消費にこだわる必要性がわからない。地元の特産やそこでしか買えないものがあればそのお店に行くけど、どこも代わり映えない品揃えだからそれなら品揃え豊富な店に行きます。
- キーノがあるので食品は買いやすいのですが、日用品や安価な品物を買うときには車を使って、スーパーマーケットで購入しています。車を使わなくても大丈夫な交通網の整備が必要だと思います。例えばバス専用レーンと追従走行の実証実験をして、人手のかからない、交通整備ができれば買い物もしやすくなるのではないかと思います。
- 和歌山市に本社があるか否かを気にしていないからよく知らない。そのようなPRがあれば、意識的に買い物しようかと思えるかもしれない。ただし地元消費よりもサービス力の方が勝る。
- 全く浸透していない。商品にロゴをつけるなど、PRが必要。広報が下手。
- 広報が少ないように感じます。
- 地元のスーパーに魅力のあるものが無いので買い物しようにも買いたい物がありません。普段は百貨店、コンビニで買い物をしますし、それらが無くなると困ります。
- 地元なので応援したいです。
- 近隣のスーパーが相次いで閉店となり不便さを感じております。ご高齢の方は尚更かと思えます。和歌山市に本社があるかどうか気にした事はないけれど、スーパー内に於いての地産地消は心掛けております。県庁周辺へのスーパー誘致を切に願います。
- 恥ずかしながら「Buy Local」という言葉をはじめて知った。「地産地消」とはまた異なるものなのだろうか？
- 田舎なので地元で買い物する機会がほとんどです。どんどん閉店していくスーパーがあり、行き先高齢になると買い物するのが不便になると思います。ネット注文ありますが、高齢者には、不向き、移動販売も新鮮な食品を買うのもちょっと抵抗あり、やはり地元のスーパー閉店しないで欲しい。
- 地元消費の意識は有りません。安く良いものを提供する店で買うでしょう。地元のお店は頑張ってください！地元の為に！
- 和歌山市の本社の店を知らない。電子マネーが使えないところは買わない。
- 和歌山で作ったから美味しいとは思わない。付加価値がないと安い方に流れます。
- 便利な店に行くようになってしまってます。もともとあった地元の総合スーパーはだんだん店が閉店していき、もともと店数も少ないので、大きな店に行ってしまうています。地元の店にも、もう少しお得感があればいいのと思っています。

- 新鮮さと安心感から地元産が好きです。
- 地産地消は意識しますが、子供も小さいため、どうしても近隣のスーパーに行きがちになります。最近食品の高騰が気になるので、やはり値段が安いことは全体的に魅力になります。
- 出来るだけ地元会社のものを買っているが、食料品の品質が落ちると購買意欲が落ちる。また品質不良を伝えた時の店員さんの対応によっても購買意欲が落ちる。相対的にみて、和歌山は店員さんの質が良いですね。
- 地元消費をしたいが、日常の買い物は同じ商品で価格の安い店を最優先で利用する。和歌山市外の方が価格的に魅力的な店が多いのでそちらを利用している。そのような店を市内にも誘致してほしい。
- 1割ほどお得な商品カードを出して欲しい。紙媒体ではなくカードで利便性が高く再使用しやすいモノにして欲しい。
- お店に協力と消費者の意識です。地産地消という言葉が使われるようになって、学校でも子供たちは学んでいます。地元の特産品を意識して活用する取組みがもっとあったらいいと思います。
- 高い、店の情報が少ない、1箇所に纏まっていないから買いづらい。ディスカウントストアの方が安いから中々買わない。
- コロナ禍となり、ここ1年半程度は地元消費が増えた。自営業者として地元消費で応援したい気持ちはあるが、やはり価格やサービスの部分で店舗を選んでしまう。
- 市内中心部ののに、徒歩で買い物ができる場所がないというのは非常に不便。出かけることに難があるので、スーパーが近くにないというのは不便どころか、生活が成り立たない。
- 特に意識してませんが便利で新鮮なので良く利用しています。
- バイローカルという言葉を知りましたが、とても良い取り組みだと思います。先日も、大型ショッピングモールの生活雑貨店で、海南市のしゅろたわしを探している方がいて。そのお店にはなく、店員さんもポカンとされていたので、しゅろたわしを小売りしている美園商店を教えました。その地元のものを出店している大型店がまとめて扱えるようなコーナー等があると良いです。
- 現在はマイカーで買物できますが、免許証返納を考えています。当市本社のスーパーが買物車(送迎車のマイクロバス等)を出してくれれば利用したいと思います。今も出してくれているM社がありますが、駐車場が遠くて利用できません。せめてバスストップ毎に乗降りさせてください。
- 他府県産より新鮮で安く買えることをもっとPR(広告)する。農産物は品種改良して食べやすくする企業努力も必要。ご当地グルメ大会を和歌山城公園などで開催する。
- 特に気にしていない。安く購入できるなら地元産にこだわらない。
- 食料品は皆さん和歌山本社で購入されることが多いと思います。それ以外のものはやはりつついネット販売で買うことが増えてきていると思います。
- レジ袋が有料なスーパーは行きません。
- 勤めているスーパーで買い物をして帰ります。まさに、地産地消です。
- 地元アピールをもっとしてもらって、和歌山を盛り上げて欲しいです。
- 近くのスーパーが次々閉店するので困る。
- まず、地元には本社がある店がどこか知らない。
- 和歌山市ではなく和歌山県での消費を考えている。
- 詰まるところ価格以外ないと思う。
- 良いことだと思うが、品薄の時は仕方がない。
- 買いにくい。出品しやすい環境もほしい。
- 散髪屋さんは地元
- 問5.7にある、和歌山市に本社のある店での購入を意識していないわけではないが、どこがそうなのかよくわからない。近くの店がそうなのかわからない。わかるようにしてほしい。
- 売ってるものが同じなら安い店へいく。いいものがあれば、遠くても買いに行く。ただ地元だから消費してもらえると考えるのは違うと思う。
- レジ袋を配らない店は排除したい。
- とても大事な事だと思います。関心ありますが、もっと和歌山愛を感じるPRが大事だと思います。
- 近くにそういうお店がないからチェーン店になる。
- 意識してそうしたいと思いますが、価格、商品ともに企業努力も必要だと思います。
- 市から補助金を出して、地元消費を促すクーポン券等を市民に配布するなどの施策の充実が必要
- 和歌山市に本社というより和歌山県内に本社がある地元企業で買い物をしたいと思うが、最終的に判断するのはやはり価格・品質である。



- 和歌山県は高齢者が多いので大きなスーパーなどは利用しにくいようです。地元で本社のある店は移動販売車をだしてあげるか小さな販売所を設けてあげたほうがいいと思います。お年寄りには憩いの場所になるし、買い物難民問題も解決できると思います。
- 地域のお年寄りはお困りのように感じます。地元消費を皆で認識して推進するような行政の働きかけが必要だと思います。
- 和歌山が大好きなので、ローカルにこだわるのであれば応援はするが、なにがローカルなのか、どの店が和歌山ローカル本店なのかは不明であるため、回答に難渋した。
- 人に来てもらうのではなく、バスで人を連れていく政策に転換してほしい。
- 和歌山市に本社がある店舗が分からないし何を売る店かも分からない、知名度がない、宣伝してるのか？
- 和歌山市に本社のあるお店だけで必要なものがそろえるならできるだけ使いたいが和歌山市に本社のあるお店が少ない。
- 地元消費(Buy Local(バイ ローカル))する為に特典のようなものがあれば良い。
- 当然地元消費が出来れば、消費者として企業にもたらした利益が税収となって、和歌山市に還元されるので良いですが、特別和歌山市にはスーパーマーケットの本社を置く企業が多いため実現出来ることだろうと思います。(一般家庭は、個人商店よりもほとんどスーパーで買い物する事が多い) それよりも、和歌山市に拠点を置く企業を増やし、人口流入させる必要があるのでは？
- 地産地消は意識しています。和歌山のものを買おうと思っているし、実際安くてもいいものが多いです。和歌山ではぜひ推進してほしいです。
- コロナ禍、若い子供がいるのでネットスーパーや宅配スーパーを利用したいと調べてみましたが、住んでいる地域だと送料が高く感じたり、宅配外であったりしました。徒歩圏内にスーパーがないので、買い物に行きたい時は子供を連れて車でいくしかありません。宅配サービスがもっと利用しやすくなれば良いのになと思いました。
- タクシー券頂いたけど、スーパーの買い物券ほしかったよ。
- スーパーに地元の農家さんの野菜のコーナーがあれば、新鮮だと思うので選択肢に入りますが、市内に本社があるからとかは全く考えません。そこはそれぞれのお店の工夫次第ではないでしょうか。
- 生産地が何処か分かりづらい。もっとPRしてはどうか？
- そもそも、買い物しているお店の本社が和歌山市内にあるかどうか、意識して購入しているでしょうか。それより、新鮮で、販売価格がお値打ちで、お買い物しやすい環境であれば、少々遠くても、許せる距離なら行きますね。
- 和歌山市に本社のあるお店がどこかわからない。調べてみようと思います。
- 和歌山市に本社があるかどうかの重要度がわからない。本社がどこであれ、品ぞろえのよい店、解体ものがある店が重要ではないか。
- 和歌山市に本社があるスーパーはどこですか？地元消費に大賛成ですので、ぜひ積極的にスーパーの告知を行ってほしいと思います。
- 病院近辺にあったスーパーが立て続けに閉店してしまったので、歩いて買い物に行っていた方がとても不便になったと耳にする。車に乗る人は少し離れていてもどこへでも買い物に行けるが、地元のスーパーこそ、みんなに優しい店づくりを願います。
- 自転車で行動するので、地元は意識する。
- 和歌山は地域スーパーが充実しているのでお買い物が大変便利です。
- なるべく和歌山のものを取り入れたいと思うのですが、高かったり近場で手に入らなかったりします。
- 地元で買い物しようと意気込んでいるというより、近くて安いお店に行っています。多くのスーパーが閉店し、市役所や県庁近くに住んでいる年配で車に乗らない人たちは不便だろうなと思っています。中心部に住みながら買い物難民になる人が減るよう、役所も何か策を練ってあげて欲しいです。お年寄りにはネット通販の利用なども大変だと思うので。
- 地元消費は意識したことがない。買い物において重視する点は価格と品質、品揃えである。
- 過日、高齢者タクシー利用券が和歌山市から送付されてきましたが、自家用車を活用しているため、利用機会がありません。低所得者対策などに税金を活用する等、別途方策を検討されたし。
- 食料品の購入には運動がてら極力徒歩で行く。現状に不便も感じず特にない。
- どの店が”和歌山市に本社がある店”なのかについて情報が無いので判別が不能です。
- 地元の物だと、銘打って売り出している情報があると分かりやすいので、欲しい。
- バイローカルは意味が伝わりにくいので、残念です。
- 利便性、公共交通機関が容易に使えることが大切と考えます。
- 地元商品にロゴマークをつけてほしい。(シールなど) 和歌山からの承認がおりたら、商品に認証シールが貼れるなど。
- 和歌山市に本社がある店かどうか考えたこともない。でも和歌山で採れたものは買うようにしている。

- 最近、カフェやケーキなどを販売してるお店が増えた気がします。新しくオープンしてます。
- 週4回程度買い物に行きますがほとんど地元のスーパーです。2週間に1回ほど市外に買い物に行きます。この場合も地元のスーパーです。今のところ不便は感じていません。
- とにかく情報が入らなければ、地元のお店や商品だというのが分からないので意識できないと思います。買い物に行くのはスーパーやディスカウントストア、ドラッグストアばかりなので、地元の個人商店などは知らないです。コンビニの駐車場などに移動販売車で地元の野菜など販売に来てくれたら買いたいと思います。
- 売り場では特段和歌山県内産であることを強調していないように感じる。梅干の一大産地でありながら、中国産もとりに置いてあり興ざめする。売り手側も、買って地域を支える気持ちや工夫が必要。
- 国産、地元を応援しています。
- 今回のお買い物に関しては、周辺にお店が多くあり不便を感じることはないところに住んでいます。ただ、自動車で購入に行くことを考えると、今後年老いて車を手放した時に宅配サービスを利用すると思います。
- 近くにはあるが買い物の値段が高いので少ししか利用しない。
- 名前は聞いたことがあります、実際に何をしているのか分からない。地元密着で魅力があるお店なら、自然と人が集まると思うのですが、地元密着だと思ってお店がない。バイローカルを意識したらどんないい影響があるのか分からない。どんな方が主になって企画、運営してるんですか？身内で盛り上がってるだけな気がします。
- 地産地消、そして、地元消費。良いですね。飲食店でも、地元野菜や地元果物を使ったお料理提供されてるお店、好感持てます。
- 和歌山市とスーパーが協力し、北海道フェアなど、和歌山からはなかなか行けない地域の特産品などのイベントを増やして欲しい。和歌山市としても協力すれば他県の市と合同(相手側には和歌山の特産品)。あと、地域地域の市場(個人商店が集まったやつ)の紹介をしてほしい。行ったことないところは行きにくく、でも美味しい揚げ物屋さんなどありそう。
- 和歌山市に本社のあるお店が、どの店なのか分かりません。
- 田を埋め立て住宅地を許可する一方、小中学校が定員過多で学校の荒れが聞こえ始め、住宅建築には許可が出るがスーパーマーケットや飲食店などには許可が出ないなど、住んでいる者の立場で考えていない行政態度が見える。市長と議員の見識を問いたい。
- 野菜は地産地消を心がけている。
- バイローカルで買いたい但他店よりは高いのがネック。
- 新鮮野菜など地元農家さんの生産物を購入させて頂いてます。お値段も安く、新鮮で美味しく気に入ってます。
- 地元活性のために協力したいとは思っているけれど、やはり安売りとあるとそっちに行ってしまう。
- 車に乗れない人には宅配サービスは便利かもしれませんが、自身の目で見て品物を選びたい、あるいは買い物そのものを楽しみたいというニーズはあると思うので、送迎サービスがあればありがたいですね。
- 消費者としては、利便性のいいお店を選ぶ確率が高いと思われるので、地元消費にはこだわらないと思う。地元消費をアップするのであれば何かに特化したものを展開しないと、ただの有象無象でしかない。
- シャッター商店街は行政失敗の証拠。衰退緩和ではなく、発展する施策にEBPMすべき。
- 和歌山市本社の企業がどこかわからない。特に意識をすることは無い。それよりは、価格と品質重視。
- 農産物については、和歌山産にこだわって購入しています。
- 生鮮食品は和歌山産とわかりやすいけれど、それ以外は何があるのかよく知りません。例えば紀の川市のフルーツ寿司は県外の人知ってるけど、和歌山県民は知らないなど聞きます。
- 出来るだけ心がけたい。
- 本社がどこかは普段意識していない。それを意識させるため、幟等目立つ表示を行うのはどうだろうか。
- 伏虎エリアにはスーパーが少ない。ぶらくり丁の空き店舗を統合して和歌山企業のスーパーがほしい。
- 幸い買い物難民ではないので助かっているが、場所によっては大変だと思う。車の免許返納が進まないのもわかる。
- 地元にも本社がある店の品揃えが、代わり映えしない、魅力がない。北海道アンテナショップなどの商品を一部取り扱うなどもっと工夫していきたくなるよう努力してほしい。空き店舗に地元の果物を使用したカフェや、アニメとコラボさせた、カフェなど、全国から人が集まり地元消費と、観光、地域活性化につなげてほしい。
- もっと地元企業であることをアピールして欲しい。そうしたらもっと積極的に応援できると思う。
- 近くに買い物できる場所があるのが一番買い物に行きやすいので、小さくても地物を取り扱うお店があれば助かります。
- 地元スーパーで購入してます。

- 地産地消と一緒に大変良いことだと思う。これからももっと増えていってほしい。
- 公共交通機関の充実が必要と思います。私の住んでる地区は公共交通機関がなく、高齢になったりして車が運転できなくなった途端に移動難民になります。
- 野菜や果物は和歌山産があれば選ぶようにしています。
- 和歌山市に本社のある会社と言われても、普段行ってるお店がそうなのか分からない。
- もっとバイローカルを情宣する方が良いと思います。
- もっと、市民へ発信すべき。認知がされていない。
- なるべく地元が潤うように近くで購入しています。ふるさと納税なども地元へ貢献したいです。
- インターネットが普及されているので、買い物に出向かないで欲しい物が手に入ります(コロナでかなり増えていると思います)。地元消費で皆が潤える様にしたいものです。
- Iターンできているので、どこでの購買が地元消費かあまりわからない。
- 問5. 6. 7は、お店の本社の所在まで把握出来ない。出題が不適切では無いか？
- 設問にある、「和歌山市に本社のあるお店」は、正確にはわかりません。
- 和歌山市に本社があるとかが無いとかじゃなく家の近くの店に行ってしまう。
- 普段は良いものを安く買うことが一番なので、バイ ローカルとか、全然気にかけていません。
- 地域性よりも消費者の要求に答えられるかがどうか問題。
- 今年近隣の和歌山のスーパーが2社閉店し、困っています。他県のスーパーも近くになく、買い物に困っています。市民の生活を守るためにも、官民協力で、対応策をお願いします。
- 農産物以外の商品について工場があっても本社は県外にある等いちいちラベルを見ての品定めは皆無。歳が歳！ 県外・市外に出るの買い物はしなくなりました。すべて身近で調達です。
- コンビニでも置く様にしたらいいと思う。
- 近くに地元スーパーがあるので、十分間に合っている。
- 地元にも本社があっても販売しているものは地元産とは限らないので、なるべくよく見て購入するようにしています。
- 私はほとんど地元のスーパーを利用していますが、新鮮で品揃えが良く価格も安ければ利用する方は増えてくると思うのでお店もそこら辺を考えて行けば大丈夫だと思います。
- 通常は近所のスーパーで買い物するが、七曲り市場に行くといいものを見つかることができる。大店舗だけでなく、個人商店も残ってほしい。最近、近所の果物屋さんが閉店していた。老舗でいいものを置いていたので信頼していたが残念です。大店舗だけだと安いことが基準になるので国民経済には決して良くない。
- 和歌山市の本店がある店をあまり知らない。ネットショッピングのように、おすすめ商品等の広告が出るような仕組みがあればいいなと思う。
- 和歌山市に引っ越してきて2年半ほど経ちましたが、どの店が和歌山市に本社があるお店がよく分かってないです。高級じゃなく、普通の価格帯の普通のスーパーが、吹上付近に早めに行ける事を願っております。
- 消費者としては、沢山スーパーが有り競争してくれたら嬉しいです。
- 和歌山市に本社のあるお店が魅力的でない。
- あまり気にしていない。
- 通販での購入は便利、日用食料品等は近くの店で買う。和歌山の地元消費は今後以前と比べて、増える事はない。まして地元企業商品の購入はない。
- 地元スーパーにはもっとたくさんの地元産食材を置いてもらえると嬉しい。
- 地産地消にしています。
- 重たい荷物の宅配サービスがあると便利だと思います。
- 近隣にないので、何かのついでにあれば買い物をする程度。
- 地産地消が良いと思っているのに中々実行できていないと思う。路地販売などは利用している。和歌山に本社のあるスーパーを利用するが、野菜など新鮮さが無いものもあり違う店を利用する事になる。
- 多少高くなっても、地元消費が大切だと思う。
- 和歌山産の魚や野菜、果物を増やしてくれると嬉しい。
- なるべく産直で地元商品を購入している。
- 地元は優先したいんですがね。

- 地元のスーパーを余り利用しなくなった。価格の安いお店を利用するようになった。地元のスーパーは価格が高い。顧客を大切にしていない。
- 商店街の再開発が重要。例えば和歌山城周辺に観光資源と宿泊施設、そして商店街をパッケージした開発が出来れば、地元の人も観光客も集まると思う。
- メーカー品は安いものは安いところで買ってしまふ。でも生鮮食品等は物によって個人店へも行くので、何でも質が大事だと思う。
- 英語(カタカナ語)を使う必要はないと思う。
- 個人専門店街を中学校区域内に誘致をお願いします。
- 地元生産品のPRが不足してる。
- コロナのパンデミックで、マスクやその原料が輸入できなくなり、国内で生産することも容易に叶わず、皆が普通に入手できるようになるまでに結局、1年ぐらいかかったでしょうか。必需品は地元で作って地元で購入しなければいけないのだということに、あの時ようやく気付きました。私もできるだけ地元で消費する生活スタイルに変えていきますので、行政側には地元で生産する仕組みづくりを考えていただきたいと期待しています。
- 市内の本社がある店舗より、日用品とか、娯楽施設、専門店とか有る大型商業施設に行く方しか、楽しいからです。
- 市内は農家の連携意識が小さい。
- 市中心部において最近、スーパーの閉店が相次いでおり高齢者を中心に買い物難民の増加が懸念される。
- あるスーパーは買い物袋も無料だし、一部店舗で送迎してくれると言い、母親も安心して買い物している。また、スーパーも地元活性化のため、小規模農家への出品物も扱えるよう幅ひろくすべきです。また、スーパーがさらに農家や農場と連携できるしくみを増やしてほしい。地元消費にするためには、企業努力も必要。
- 自動的に住まいもその近くで探す人が多いように思います。
- 地産地消おおいに賛成ですが、高すぎるとやはり安い方に目移りしてしまう。中国製の口にするものはなるべく買わないようにしている方も多いと思うので、なるべく安くしていただけるとますます需要が伸びるのでは。
- 特産品など安く買えるところが、身近なところにもできてほしい。
- 昨年スーパーが突然閉鎖しました。その後、遠方のスーパーに行くが、不便を感じています。行政や地元の自治会は知らんぷり。
- 良い取り組みだと思います。値段と新鮮さもお願いします。
- 地元消費には関心がありますが店がだんだん少なくなり、独り住まいの年寄は困っています。
- 地場の食材を取り扱う特化型スーパーを和歌山市内に作って欲しい。農産物だけではなく、食肉も鮮魚も同様に扱うお店があれば良いのにな。そういうお店なら、週末に買いだめして、日用品は周囲の小売店で調達するのと思う。
- 昨年発表されたときはポスターを見かけたり報道で内容に触れたりしましたが、それ以降特に感じるタイミングがないのが残念です。こういった活動は継続するとともにずっと定期的な発信をし続けることが大切だと感じますので、1枚でもポスター掲示を増やす、協力店舗前で呼びかける、和歌山市のイベントで声掛けやチラシを配布するなど、ぜひ認知を広げる活動を続けていただけたらと思います。
- 生産者さんが直接野菜を置きにくる形の店舗が近くにできて欲しい。野菜が安くて新鮮で持ちが違うので。
- 和歌山市限定だとそれほどないですが、和歌山県としてなら、90%超えていると思います。
- 店舗を増やしてほしい。
- 地元消費、なるべくそうしています。
- 地元消費が出来たらメリットがあるようなPRをしていただけると嬉しいです。
- 和歌山市民を優遇した対応をお願いします。
- 地元の野菜は形は悪かったりするけど安いし安心なのでよく買ってます。
- 私は100%地元消費ですが、別に意識してではなく便利だからだと思います。
- 重量物(水、ビールとお米など)はどうしても価格と配達の便利さを考慮してネットスーパーで購入している。近くのスーパーでは手間がかかり依頼しにくい。
- 問6、7で、和歌山市に本社のあるお店でピンとくるところがなかった。まずは、地元のものを意識するところから必要かなと思った。
- 子育て世代は食の安全を重視している人が多い。無農薬、減農薬、有機、無添加など、より安心して口にできるものを地産地消でなるべく価格も抑えて販売できれば良いと思う。
- 大切だと思うが、普段の生活なので利便性や他と比べての利点がないと続けることが難しい。

- 隣の市ですが、スーパーがなくなってしまい、最近では移動販売車があるそうです。とても便利だということで、和歌山市も近くにスーパーがない場所は、お店が来てくれると助かる高齢者がたくさんいるかもしれません。
- 有田市に本社があるスーパーしか安いです。
- 商店街の再興、盛り上げたい地域へのアクセスの充実化などがなければ地元消費は伸びないと思います。地元スーパーで売っていないものや値段が合わないものもあります。1店舗ですべてをまかなうのは難しいので、いくつかの店舗が協力し合い、人を呼びこむ魅力的なエリアづくりに力を入れてはどうでしょうか。
- 地元で消費したいが、日々の生活に関連した商品を買うには近くにコンビニしかありません。昔はスーパーや市場が沢山あって不自由なく買い物出来たので、今の場所に家を建てたのですけれど、まさか買い物できるお店が全く無くなるとは想像できませんでした。現在は自転車もしくは車でないと充実した買い物できるお店まで行けないので、生協の共同購入や休日にまとめ買いでしのいでいます。自転車や車に乗れなくなる年齢になったらどうしようかと考えると移動販売車などに頼るしかないのかなと思案しています。地域の自治会館などで生活必需品を販売してくれたら買い物行けるのですけどね。行政の方で買い物難民対策してもらえませんか？
- 魅力的なスーパーがない。
- 日頃の買い物は近所で済ませる事が多いですが、地元産品で良いものが知られていない事も沢山あるので、どのような物が何処で買えるか情報が分かれば、足を運ぶきっかけになると思います。地域振興券以外に地元で買うと、メリットのあるような付加価値がつくような仕組みを取り入れていくのも良いかと思えます。
- 和歌山市に本社がある店が思いつきませんでした。
- そもそも和歌山市に本社があるスーパーなどが分からない。
- 県庁近辺にスーパーがなくなって困ってます。
- 和歌山市に本社がある店が分からない。
- 近隣の地元のスーパーが軒並み閉店してしまった。中心部はマンションが増えて地元消費も見込めると思う。近隣スーパーがここ半年で3店舗閉店。全て和歌山に本社があるスーパーだけに残念です。
- バイローカルの見学をした小学生の手書きの記事などを店舗で見かけることが多くなり、若年層の方が浸透している言葉のように感じます。地元紙などでも掲載していただきたい興味深い内容です。

この度は、お忙しい中、アンケート調査にご協力をいただき、誠にありがとうございました。皆さまからいただきました貴重なご意見・ご回答は、本市における地元消費（バイローカル）運動の推進のための参考とさせていただきます。今後とも本市の商工業振興にご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。